



「美濃吉」副料理長と
学生考案のメニュー

平成22年12月8日、さいたま市知事公館大会議室にて上田清司埼玉県知事と学生との対話「知事の太鼓集会」(埼玉県主催・埼玉りそな産業協力財団後援)が行われました。9大学19名の学生が参加。本学から参加した西方一葉さんと塚原明子さんに対話を様子・感想を尋ねました。

主なテーマは、「若者の内向き化について」「コミュニケーションの手法について」でした。海外留学者の減少等の現状を踏まえた上で、意見を交換し合いました。私は、留学生の減少が必ずしも若者の内向き化につな

がるのではなく、自分から向かっていくという意見を述べました。また現代は、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)等で、実際に顔を合わせなくとも意思疎通を図ることができますが、お互いの表情、声色や雰囲気を通して感じ取る、生のコミュニケーションの大切さを改めて感じま

た。私は日常のコミュニケーションにおいて、学生が積極的に参加して様々な情報を交換し、発信できるきっかけを作りや交流会を行うことを目的に、年間で学生支援セミナーを実施しています。

「異なる学年、学科の人たちが同じ班でコミュニケーションが取れるか不安でしたが、『おいしいお弁当をつくる』という気持ちが一致していましたので楽しく会話することができました。また、おいしいお弁当が作れて楽しかったです。」



上田県知事と一緒に

した。温かいコミュニケーションを図り、相手を大切にできる人として生きていきたいです。西方一葉 英語英文学科 3月卒業

集会は皆で円になり、とても和やかな雰囲気でした。知事の質問に対して途切れることなく意見が飛び交い、白熱した議論が行われました。

学生支援課では、皆さんの学生生活が充実したものとなるよう年間を通じて、様々な行事を企画しています。

教育・学生支援センター

学生支援課では、皆さんの

学生生活が充実したものと

なるよう年間を通じて、様々

な行事を企画しています。

卒業後フォーマルな席へ

参加する機会が多くなる学

生に食事のマナーを身につ

ける機会を提供すると共に、

初対面の人たちとテーブル

でどのように会話をするか

を学びます。形式的なマナ

ーだけではなく、心のマナー

を身につける機会となるよ

うと考えています。

「学生と

して視野を

広げ、教養

を高めるこ

と」を目的

として年2回開催していま

す。学生時代に積極的に感

性を磨くきっかけになるこ

とを目的としています。

「今まで見たことがない歌

舞伎を、興味深く観ること

ができた。」(昔の日本の価

値観や言葉使いが味わえた。)

「知っているようで知らない箸の持ち方、乾杯の仕方等を教えてもらえて良かった。」(日本人なのに日本のマナーを全然知らなかつた。)

「日本人なのに日本の

マナーを全然知らなかつたので、正式な場で食事をする前に学べて良かった。」

埼玉県知事と対話

家庭ではない、懐石料理店のデザートということで、店のデザートと zwar こと、組み合わせ・色など細かなところまで配慮する大切さを学ぶことができたこと、副料理長や友人と話し合いを重ねて作れたことは、とても貴重な経験となりました。

大2管士 伊東咲江
良事例として認定された23団体の一つに、白藤プロジェクト「教育の循環を楽しむ!」が選定されました。12月1日(水)、総理大臣官邸内で開催された選定証授与式には、第4期リーダー

東武百貨店スパイスとコラボ「りんご & さつまいも」

この企画に参加した二人の学生の声をお届けします

を考案。本学は、10店舗10品を担当しました。

この企画に参加した二人の学生の声をお

